

◇横浜 (13時・28,937人)

広島	0	0	0	1	0	4	0	0	1	6
DeNA	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(11回戦 DeNA 6勝5敗)
 困丸10号③ (山口) 松山5号① (山口)

勝中村恭 3試合 1勝
 敗山口 8試合 3勝 2敗

①…広島は投打がかみ合った。先発の中村恭は5回を3安打無失点で切り抜け、3年ぶりの白星。打線は四回にエルドレッドの犠飛で先制し、六回は丸松山が2者連続本塁打を放った。DeNAは連勝が6で止まった。

きのうの勝敗

セ・リーグ

広島 6-0 DeNA

巨人 2-1 阪神

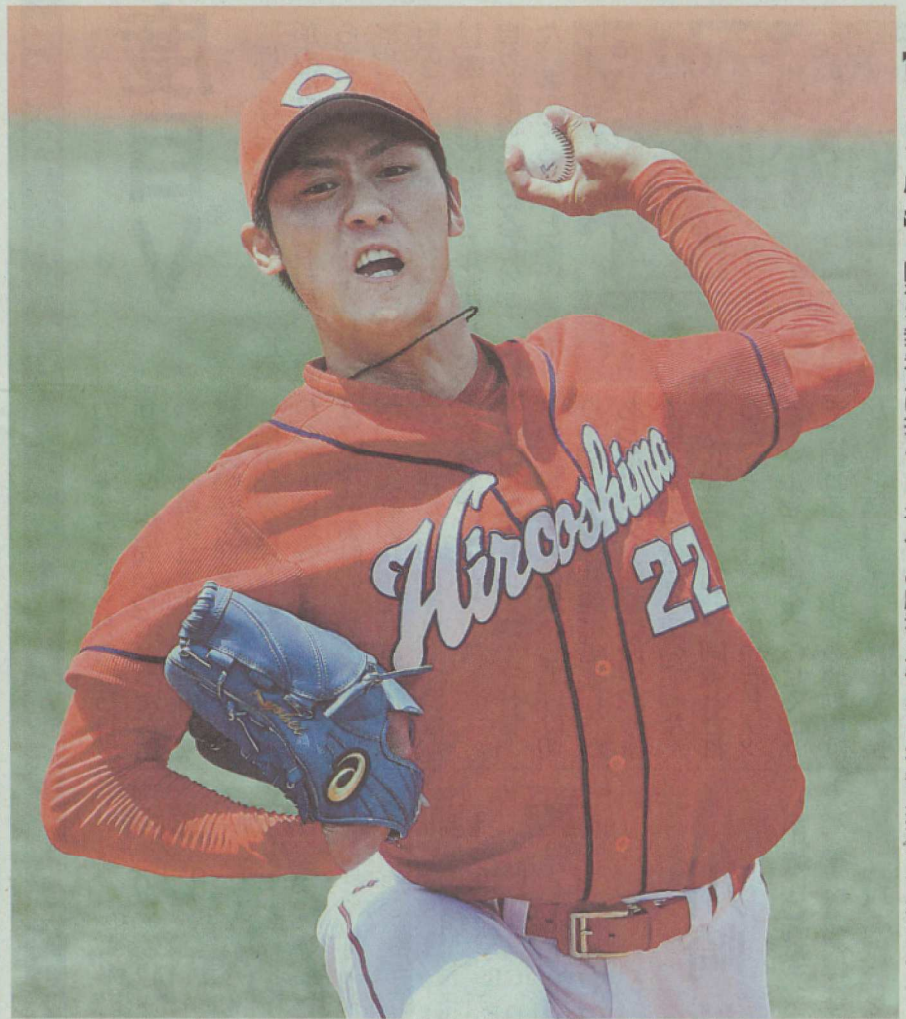
中日 6-1 ヤクルト

パ・リーグ

日本ハム 12-3 楽天

ロッテ

中村恭 3年ぶり白星



【DeNA―広島】5回を無失点に抑え、3年ぶりの勝利を飾った中村恭 (撮影・高橋洋史)

「長かった」背水の奮投

「背水の陣」。2重落ち

も覚悟して臨んだマウンド。落ちる球を多投し、DeNA打線をかわした。中村恭が5回を無失点に抑えてのピンチは5回。右ふらふら2013年4月以来、3年ぶりの白星。「とても長かった」と安堵の表情を浮かべた。「本塁打より押し出した」

の方がいい。ぶん投げた。腹をくくって投げた変化球は低めにいき、遊ゴロに打ち取った。黒田の助言がきっかけになった。「初球からストライクゾーンを9分割する

必要はない」。22日の阪神戦で4四球を与えて4失点するなど、コースを狙いすぎて自滅する悪癖がある。その対策として、まず内角と外角で2分割し、1ストライク後は高低を含

め4分割。最後はボール球を使えという教えに、心にゆとりが生まれ、腕が振れた。九里と岡田に続く好投で、先発陣は光明が差し始めた。「先発ローテーションを気にする立場じゃない。一試合ずつやっていく」と中村恭。プロ2勝目にも全く浮かれていなかった。(土木崇達)



お目覚めの丸 4安打4打点
 ○…3試合無安打だった丸に当たりが戻った。昨年6月23日以来の4安打で4打点。全体的によかった。最後まで集中できた」と振
 表情を見せた。七回に左前打、九回には左前適時打。43打点として、リーグトップに並んだ。
 六回、広島無死一、二塁、10号3ランを放ち、ナインに迎えられる丸⑨